BA0068加工要領

交換用クレセント3K0783はクレセント本体の取り付け穴位置が偏芯している為、
そのままでは取り付けることができません。
3K-N K-LタイプクレセントBA0068を代用品3K0783 (3K-EII KL用クレセント）に交換する場合、 現場についている裏板を加工して取付ける必要があります。
また、 桓のクレセント取り付け穴についても現地加工が必要となります。
3K-Nは年代により新旧2種類あり、 クレセント取り付け穴加工形状が異なります。
旧加工 ⌀4. 5 X 1 2 長孔
新加工 ⌀8　　丸孔

BA0068→ 3K0783交換要領

3K-Nクレセント加工には新旧2種類あります。既存サッシのクレセントをはずし、加工形状を確認してください。
（旧タイプの場合はクレセントをはずすと、内部のウライタが下に落ちますが問題ありません）

旧加工　クレセント取付け用加工穴形状は、(⌀ 4. 5 X 1 2. 5の長孔です。（別紙①）
新加工　クレセント取付け用加工穴形状は、⌀8の丸孔です。（別紙③）

新旧それぞれの交換作業要領

旧加工の場合

①　内障子を枠から降ろします。
②　召合せ桓内の裏板を取り出します。
③　⌀5程度の丸棒型金ヤスリで別紙①のように半円型に削ります。
④　裏板を内外逆向きに（またはサンダーで3mmカットし）挿入し、クレセントを取付けます。

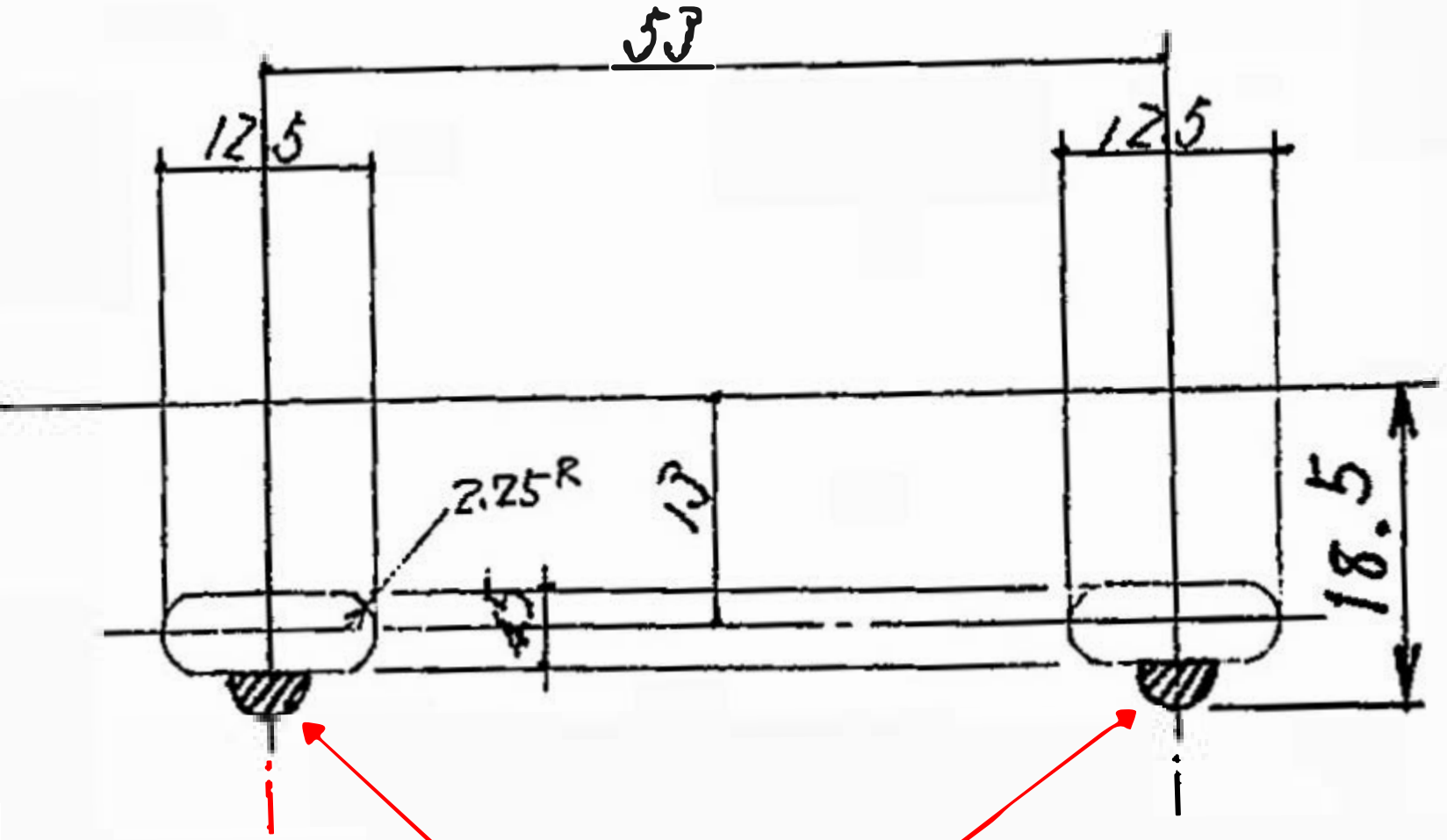
新加工の場合

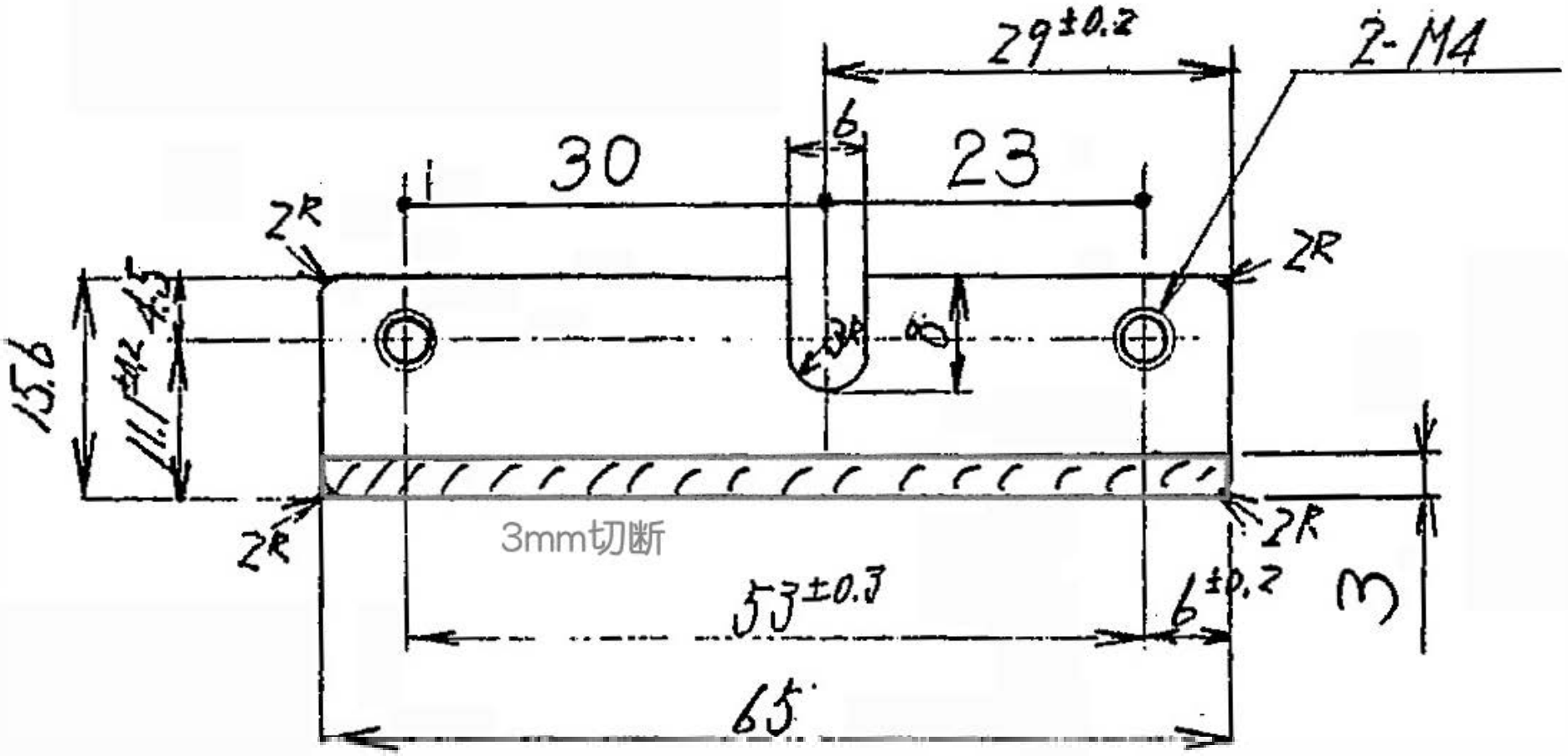
①内障子を枠から降ろし、障子を分解します。
②召合せ桓内から裏板を取出します。
③ ⌀5程度の丸棒型金ヤスリで別紙③のように半円型に削ります。
④裏板をサンダーで3mmカットし挿入し、クレセントを取付け障子を組立てます。

KOKE YARASU
www.koike-g.com

クレセント取付切欠詳細図

別紙1

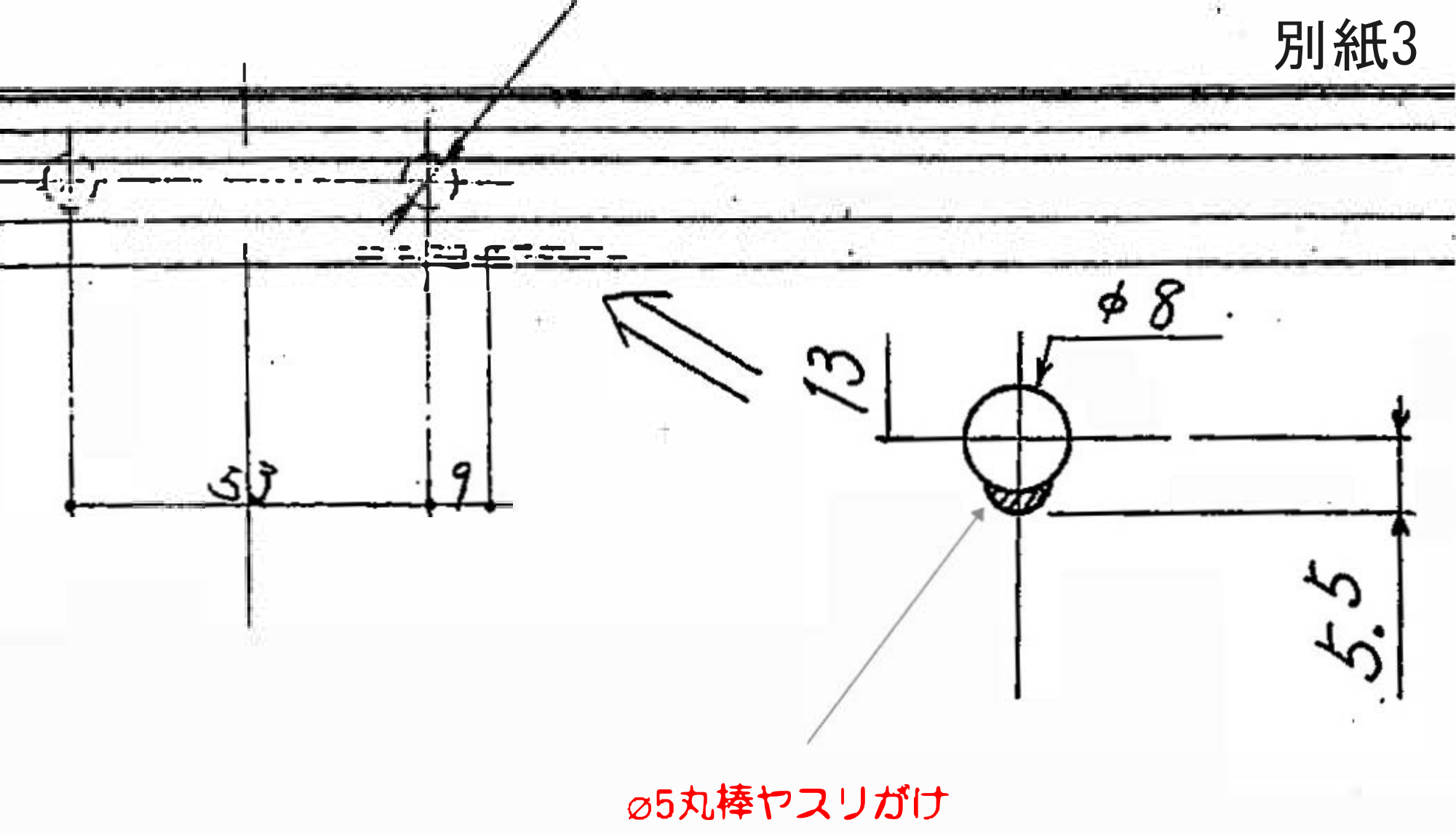




裏板加工図

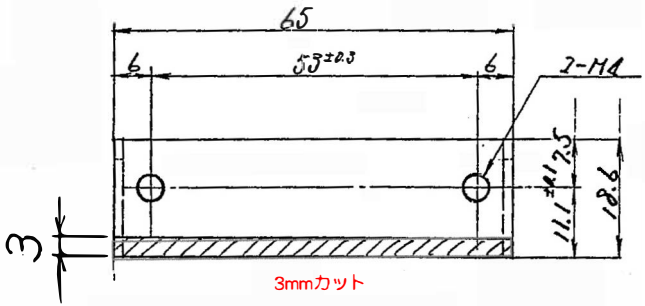
旧タイプ裏板形状

別紙3

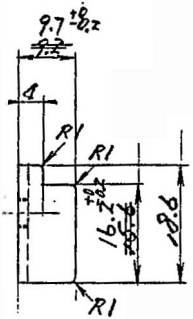


⌀5丸棒ヤスリがけ





3mmカット



新タイプ裏板形状